日本摂食支援協会
会員限定

摂食支援の理解を深め、実践へと段階を進めていかれると思います。
「基礎実習コース」では、食べ物を使用しない『間接訓練』までしたが、次の段階はいよいよ実際に施設・在宅の利用者様に食べ物を食べさせる『直接訓練』へと進みます。直接、食事の介助となる為、誤嚥性肺炎や窒息のリスクを伴いますので、事故が起こらないように行う必要があります。

摂食支援

アドバンスコース

アドバンスコースは、基礎実習コース受講医院が対象となります。

POINT!

ミールラウンドの他、多職種連携に
重きを置き、施設でのカンファレンス実習も行い、
経口維持・経口移行までのプロセスを学ぶ！
（直接訓練）

お申込み
または当会 HP よりお申込みください

	A	B
講　師	山下美登 （学術理事）	東京医科歯科 大学講師
開催地	東京（立川）	東京（成増）
日　程	5.31~6.1 7.12~7.13 10.25~10.26	※VE 実習あり ※日程は決まり次第HPへ UP いたします。
時　間	1日目 14:00~17:00 2日目 10:00~14:30	1日目 14:00~19:00 2日目 09:30~15:30
最大参加医院数	4 医院	5 医院
最小挙行医院数	2 医院	2 医院
実習場所	各実習コース（開催地）の提携施設	
受講料 受講条件 その他	550,000 円で 2 名 参加可能 ※1 医院の最大参加人数…3名（追加料：22,000 円） ※同一歯科医院に勤務に限る ※基礎実習コース受講医院 ※講演内容は各講師によって多少異なります。	

歯科医師・歯科衛生士での参加を推奨しています！

摂食嚥下治療時における多職種連携

〈施設の症例より〉
リハビリを主とする施設での多職種連携
安定維持を主とする施設での多職種連携

〈居宅の症例より〉
在宅、居宅での多職種連携
なぜ多職種連携を組むのか（目的、メリットは？）

〈施設が算定できる加算について〉
口腔機能管理体制加算
経口維持加算、経口移行加算習

実　習 ※症例を各先生に用意

アセスメント、同意書の作製／治療計画、間接訓練、直接訓練の実施／
カンファレンス実習／
ミールラウンド観察後…摂取時の注意点／
食 up のための訓練及び治療計画／食後の口腔ケア

歯科衛生士

アセスメント、同意書、契約書の作製／難症例／ALS の口腔ケアの実際
気管切開した方の経口移行時の訓練

各実習コースの詳細は、当会HPをご確認ください
（日本摂食支援協会 HP ▸▸▸ セミナー案内 ▸▸▸ アドバンスコース）

一般社団法人 日本摂食支援協会　〒113-0033 東京都文京区本郷 2-25-6 ニューライトビル 204　Tel：03-3868-0125　fax：03-6831-2773　http://www.sesshokushienn.com/

※災害や講師急病等やむを得ない事情で中止となった場合、参加費の全額返還、もしくは次回開催に振替させていただきます。但し中止によって生じた旅費、宿泊費や届出の遅れによる逸失利益など、参加者各位の損害については補償できません。ご同意の上お申込ください。